

2008年6月10日

各 位

旭化成クラレメディカル株式会社

ポリスルホン膜人工腎臓の中空糸紡糸設備増設について

旭化成クラレメディカル株式会社（本社：東京都千代田区 社長：吉田 安幸）では、ポリスルホン膜人工腎臓（商標名：「APSTM」）の中空糸紡糸設備の増設を決定しましたので、お知らせいたします。

これにより当社のポリスルホン膜人工腎臓の中空糸紡糸能力は、年産 3,400 万束となります。

1. 紡糸設備の増設概要

- (1) 場 所 : 宮崎県延岡市岡富地区（現在建設中の紡糸・組立一貫工場内）
- (2) 生産能力 : 600 万束／年
- (3) 投資額 : 約 28 億円
- (4) 着 工 : 2008 年 8 月予定
- (5) 稼 働 : 2009 年 10 月予定

2. 増設の背景

人工腎臓市場は、高齢化の進展、透析患者数増加及び医療環境の整備に伴い世界での需要が着実に増加しています。中でも高性能で生体適合性に優れたポリスルホン膜人工腎臓が大きな伸びを示し今後もこの傾向が続くと予想されます。

旭化成グループでは、中期経営計画「Growth Action – 2010」で医療関連領域を戦略拡大分野と位置付けており、透析事業領域でも本年 5 月にEVOH中空糸膜人工腎臓紡糸工場が竣工、ポリスルホン膜人工腎臓の紡糸・組立一貫工場の建設（本年 10 月竣工予定）など積極的拡大を図ってきました。

このたび、これらに続きポリスルホン膜中空糸の紡糸設備増設を決定しました。今回の決定は、世界トップクラスの品質及びコスト競争力を有する当社のポリスルホン膜中空糸を国内外の企業に供給し人工腎臓のグローバル成長を加速するためのものです。

今後も人工腎臓のリーディングカンパニーとして、国内外の需要増に対する供給責任を果たすと同時に、日進月歩で進化し続ける透析医療技術の向上に貢献するため、より優れた新製品開発と生産技術革新に取り組み、各医療機関の治療方針に適った患者様のQOL（Quality of Life）向上に役立つ透析治療システムを提案、提供し、世界の医療技術の進歩に貢献することを目指します。

<ご参考>

旭化成クラレメディカル株式会社の概要

- (1) 代表者 : 吉田 安幸
- (2) 設 立 : 1974年7月24日
- (3) 資本金 : 8億円 (旭化成ファーマ(株) 93%、クラレメディカル(株) 7%出資)
※旭化成ファーマ(株)は、旭化成(株)の100%出資会社
- (4) 本 社 : 東京都千代田区神田美土代町9-1
- (5) 工 場 : 延岡工場(人工腎臓向け中空糸膜紡糸他)、大分工場(人工腎臓他組立加工)、中国工場(浙江省杭州市 人工腎臓組立加工)
- (6) 従業員数 : 約1,500名(2008年3月末)
- (7) 主要製品 : 人工腎臓、血液浄化(アフエレス) 関連製品等の開発・製造・販売

〔用語解説〕

1. ポリスルホン中空糸膜

ポリスルホン樹脂を使用した中空糸膜。β2-MGなどの低分子量タンパクの除去性能が高く、また生体適合性及び抗血栓性に優れている。

2. 透析(人工透析)

血液を体外に誘導し、中空糸膜(人工腎臓)を介して血液と透析液を接触させ、本来尿中に排出される尿素、クレアチニン、尿酸などの老廃物を除去して浄化された血液を体内に戻す療法(透析治療)。この療法を行う際の血液と透析液を接触させるための半透膜を容器に組み込んだものが人工腎臓(ダイアライザー)である。

素材としてはセルロース系(再生セルロース、セルローストリアセテート)、合成高分子系(ポリスルホン、EVOH、ポリアクリロニトリル、ポリメチルメタアクリレート等)がある。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

旭化成株式会社	広報室	電話 : 03-3296-3008
旭化成クラレメディカル株式会社	経営企画室	電話 : 03-3259-5861